別紙1

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」（米国）

TOFUプログラム　標準日程案

日時		プログラム	ねらい
事前説明会　渡航1か月前を目安に実施			
1日目		羽田空港　集合	
	午後	【表敬訪問】外務省、駐日米国大使館	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。また米国での安全管理・健康管理について確認する。
		オリエンテーション、渡航説明・健康状態確認	
2日目	午前	【成田/羽田空港発　→　米国着】	
	午後	【表敬訪問】日本国大使館/米国政府機関	米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
3日目	午前	【意見交換】米国政府関係者、シンクタンク関係者等	東アジアの安全保障環境、あるべき日米安全保障体制の姿、米軍と社会との関係等について意見交換を行う。
	午後	【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
		【表敬訪問】米国政府機関	米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
4日目	午前	【現地学生等との交流】	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについて発表を行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。
	午後	【ワシントンDC　→　ニューヨーク】	(米国内移動)
5日目	午前	【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
	午後	【ワークショップ】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、米国関係者に報告する内容をまとめる。
6日目	午前	【表敬訪問】在ニューヨーク日本国総領事館	米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
	午後	【国際機関訪問】	米国または国際社会における日本の役割や評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
		【ワークショップ】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、米国関係者に報告する内容をまとめる。
7日目		【米国発　→　成田/羽田空港着（翌日到着）】	
8日目		帰国 解散	